

事前に確認しておこう

ハザードマップで自宅の危険度を事前に確認！

避難方法や避難のタイミングは居住場所や環境によって異なります。ハザードマップで自宅の災害リスクや、避難所、自身の避難行動をあらかじめ確認しておきましょう。

自宅の場所を確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖の近くなどに住んでいる場合、市からの避難情報を参考にし、必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があります。自宅以外の安全に避難できる場所を考えておきましょう。

自分自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

**警戒レベル 3
(高齢者等避難)**
が出たら避難！

いいえ

**警戒レベル 4
(避難指示)**
が出たら避難！

市ホームページで公開しています。

ID 0001979



災害のタイミングを知ろう

5段階の警戒レベルと気象情報

警戒レベル	皆さんがとるべき行動	市からの情報	気象庁等の情報
5	命の危険 直ちに安全確保 ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。 今いる場所より安全な場所へ直ちに移動。	緊急安全確保	大雨特別警報
4	危険な場所から全員避難 ・過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況。 この段階までに避難を完了しておく。 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風の前に避難を完了しておく。	避難指示	土砂災害警戒情報
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者以外の方も必要に応じ、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報
2	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクと避難情報の把握手段を再確認する。		大雨注意報 洪水注意報
1	災害への心構えを高める		早期注意情報

ここまで必ず避難！

災害に強い 宇陀市を目指して！

問 危機管理課
(☎ 82・1304 / IP ☎ 88・9070)

市は、他の地域と比較すると災害が少ない地域ではありますが、今後 30 年以内に 80% 程度の確率で発生すると言われている南海トラフ巨大地震では、国の発表によると宇陀市でも最大震度 6 強が想定されており、甚大な被害が懸念されるところです。

また、近年の気象状況からも線状降水帯の発生や突風、竜巻、スーパー台風等、今までの予想を超える自然災害が頻発しています。

これらの災害から市民の皆さんの安全を確保していくために、公助としてのハード・ソフト対策を強化するとともに市民の皆さんによる共助の取り組みを推進することにより、災害に強い宇陀市を目指していきたいと考えています。

宇陀市ハザードマップを更新しました

令和 3 年 5 月、水防法改定に伴い、改正前には洪水浸水想定区域の作成対象となっていなかった中小河川が、新たに指定対象となり、令和 5 年 5 月、市内の 45 中小河川が追加公表されました。これを受け、市ハザードマップに市内の 45 中小河川に係る洪水浸水想定区域を追加しました。

奈良県において土砂災害警戒区域等の見直しが行われており、今後指定公表等がされる警戒区域があるため、今回は全戸配布しませんが、右記のハザードマップ配布場所でお取りいただくか、市ホームページで公開していますのでご覧ください。

ハザードマップ配布場所
●市役所(1 階・ふるさとテラス、3 階・危機管理課)
●各地域事務所

洪水・浸水想定区域

宇陀川や芳野川の決壊などによる氾濫が発生した場合、どれくらい浸水するか、深さ、範囲を想定したもので、想定し得る最大規模の降雨（千年に 1 度の確率で想定される最大規模降雨（9 時間雨量 380mm）による浸水範囲や浸水深を表示しています。ただし、浸水の予想される区域やその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化、河川や下水道の整備状況などにより変化することがあります。

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

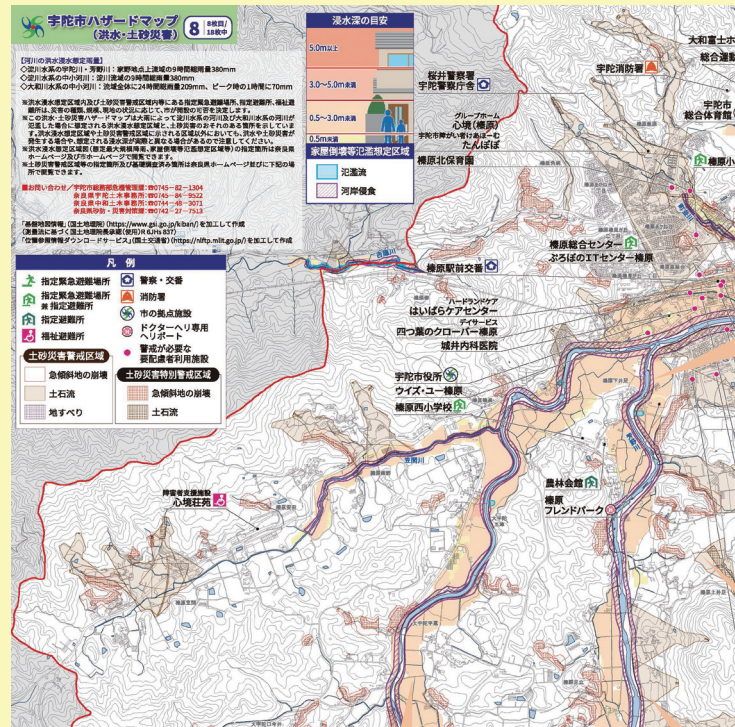
土砂災害警戒区域（イエローゾーン）の内側にあり、急傾斜地の崩壊や土石流等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、市民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

急傾斜地の崩壊や土石流等が発生した場合に、市民等の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

家屋倒壊等氾濫想定区域

想定し得る最大規模の降雨により、近くの堤防が決壊した場合などに、一般的な建築物（家屋）が倒壊・流出する危険性が高い区域を指定しています。この区域では屋内での退避ではなく避難所への立ち退き避難の必要性を判断することが求められます。



情報を得る手段を事前に確認！！

災害時に適切な行動を取るためには、気象情報等を把握しておき、市からの避難情報を得る必要があります。自主的な避難のために、あらかじめ自分が必要とする情報入手方法について確認しておきましょう。

▶安全・安心メール

気象警報発令や避難情報等をメールでいち早くお知らせします。

登録がまだの方は
こちらから



希望言語設定が可能に！
(日本語・英語・中国語・ベトナム語)

▶防災情報電話（ファックス）

メールが利用できない方はこちらを登録してください。

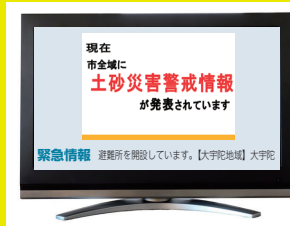
安全・安心メールで配信する内容を音声に変換し、登録された電話番号へ「電話配信」および「ファックスへの配信」により、一斉送信します。登録は、問 危機管理課へ。
(☎ 82・1304 / IP ☎ 88・9070)

▶市ホームページ 公式SNS



避難所の開設状況や気象情報を発信しています。

▶うだちゃん11



災害時は常に確認してください！

災害警戒時は緊急放送として避難情報等を放送しています。

▶防災行政無線



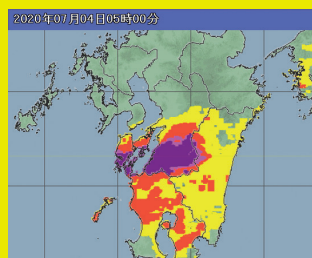
放送内容が聞き取れない場合
災害時電話応答サービスへ
【☎ 82・8100 / 82・8101】

▶キキクル（危険度分布）・気象庁

大雨のとき
今いる場所の危険が分かる！

キキクル（危険度分布）は警報が発令されたときや、強い雨が降ってきたときに、どこで土砂災害や浸水害、洪水被害の危険度が高まっているかを知ることができる、命を守るための気象庁からの情報です。

キキクル
(気象庁ホームページ)



令和2年7月豪雨時の危険度分布（大雨警報（土砂災害））

地図上に災害の危険度が色で表示され、一目で確認できます。

大雨警報(土砂災害)の危険度分布
極めて危険【警戒レベル4相当】
非常に危険【警戒レベル4相当】
警戒【警戒レベル3相当】
注意【警戒レベル2相当】
今後の情報等に留意

防災訓練への協力依頼

6月1日(日)午前8時30分のサイレンにあわせて、2025 宇陀市防災訓練を市内一斉に実施します。市役所では、風水害を想定して、職員向けの図上訓練を実施しますが、地域の皆さんは、それぞれの自治会、自主防災組織等の実情に合わせた防災訓練を実施していただきますようにお願いします。想定や訓練内容は、自由に設定していただいて結構です。防災訓練についてのご相談があれば、危機管理課までお問い合わせください。



避難場所を事前に確認！

避難とは **難** を **避** けること

水平避難

- ◆市の指定する避難所への避難
(避難所はハザードマップや市ホームページに掲載)
- ◆自治会等が開設する自主避難所や安全な知人宅への避難

垂直避難

- ◆屋内の2階以上の安全を確保できる場所へ移動
- ◆自宅内でより安全と考えられる場所にとどまる

市の指定する避難所に行くことだけが避難ではありません。難を避けるための行動を取りましょう。

早めの行動が大事！



屋外での移動が危険なとき



避難時に必要ものを事前に確認！

必要な分だけ準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう！

自分にしかあわないもの

□コンタクトレンズ □常備薬 □入れ歯 など



リュックに入れて持ち出すもの

□飲料水 □食料品・携帯食 □衣料、防寒具 □保温アルミシート □メモ用紙 □新聞紙
□歯ブラシ □懐中電灯 □携帯電話、充電器 □貴重品 □医薬品 □生理用品 □ラジオ
□ビニール袋 □ウエットティッシュ・ティッシュ □健康保険証 □運動靴
□マスク、消毒液、体温計 □防寒具・雨具 □タオル、靴下 など

災害時生活用水協力井戸の登録をお願いします

大規模災害が発生した場合、水道施設の損傷により長期間の断水が予想されます。この間、飲料水だけでなく、洗濯やトイレ等に使用する飲料用以外の生活用水の不足も懸念されます。

そこで、市では、皆さんが所有する井戸水を近所の方々に提供していただく災害時生活用水協力井戸の登録を進めています。皆さんの善意による井戸の登録をお願いします。

なお、水質検査については、検査希望があった場合、当市が負担し検査を実施します。

ID 0012482

